

教職課程

1. 教育職員免許状（国家資格）

卒業後、教員を目指す人は、国・公・私立学校を問わず、それぞれの学校に必要な教育職員免許状を取得していることが必要です。取得できる免許状の種類・教科は、表①のように所属する学科によって決められています。取得に必要な科目、単位数については、入学年度ごとに記載されている箇所が異なりますので、表②により確認してください。なお、教育職員免許状の取得を希望する人は、教職課程への登録が必要になります。

21年度以降の△使用

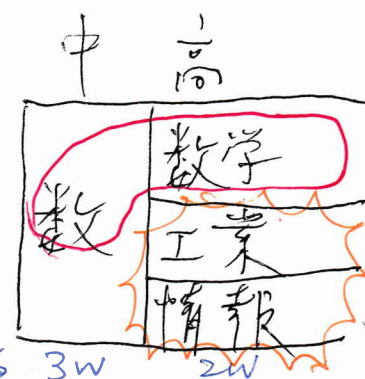
表① 本学で取得できる免許状の種類と免許教科

対象学科	コース	免許状の種類	免許教科
機械工学科 M (総合機械工学科 S)	数学コース	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	数学
機械システム工学科 T 電気電子工学科 E 建築学科 A	工業コース	高等学校教諭一種免許状	工業
情報システム学科 B × 情報システム D × 総合情報 G	数学コース	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	数学
	情報コース	高等学校教諭一種免許状	情報

表② 各入学年度ごとの教職科目、単位数掲載誌等一覧

掲 載 誌
学生便覧2013～2020

※2021年度入学生からは、HPとポータルサイト掲載



2. 教職課程登録[○]手続

教育職員免許状の取得を希望する学生は、教職課程の登録をする必要があります。1年次の4月にガイダンスが行われ、6月末までに教職課程履修料を納付することで、登録が完了します。

3. 教職課程履修料について

教職課程履修料は、1 免許状につき18,000円です。例えば、「中学数学」と「高校数学」の2種類の免許状を登録する場合は、36,000円になります。

MENU

学生便覧

入学年度、自分の学科

2021年度入学生対象

工学部

- 機械工学科
- 機械システム工学科
- 電気電子工学科
- 建築学科 建築専攻
- 建築学科 インテリアデザイン専攻
- 建築学科 土木・環境専攻
- 建築学科 かおりデザイン専攻

教職課程

情報学部

- 情報システム学科
- 情報デザイン学科
- 総合情報学科

教職課程

大学院

- 大学院の概要・履修要綱
- 工学研究科
 - 修士課程 機械工学専攻
 - 修士課程 電気・電子工学専攻
 - 修士課程 建築学専攻
 - 修士課程 都市環境デザイン学専攻
 - 博士課程 材料・環境工学専攻
- 情報学研究科
 - 修士課程 情報学専攻

2020年度入学生対象

- 学生便覧（工学部2020年度入学生対象）
- 学生便覧（情報学部2020年度入学生対象）
- 大学院研究科便覧（2020年度入学生対象）

2019年度入学生対象

- 学生便覧（工学部2019年度入学生対象）
- 学生便覧（情報学部2019年度入学生対象）
- 大学院研究科便覧（2019年度入学生対象）

2018年度入学生対象

- 学生便覧（工学部2018年度入学生対象）
- 学生便覧（情報学部2018年度入学生対象）

↓ かなりちがう
(散免法が変わったため)

2017年度入学生対象

- 学生便覧（工学部2017年度入学生対象）
- 学生便覧（情報学部2017年度入学生対象）

2016年度入学生対象

学生生活

年間行事・イベント

授業・定期試験・学習（学修ガイド）

大学と高校の違い

重要用語の解説

基本的事項

履修に関するガイド

授業に関するガイド

試験に関するガイド

成績に関するガイド

卒業に関するガイド

シラバス

学生便覧

教職課程

休学・復学、退学、再入学

転学部・転学科、転専攻

学費・奨学金・教育ローン

各種証明書・手続き

学生生活サポート

就職・キャリア

海外留学・研修制度

キャンパスマップ

委員会・クラブ

学内刊物物

事務取扱時間

学生生活 よくある質問

教職課程

1. 教職課程について

卒業後、教育職員を志望するものは、「教育職員免許法」に定める教育職員免許状を取得する必要があります。そのためには、卒業に必要な所定の単位を修得するとともに、所要条件を満たし、かつ所定の単位修得し、申請することが必要になります。

2. 修得できる免許状について

教職課程を履修し、卒業と同時に申請し修得できる免許状は、下記のとおりです。

コース	免許状の種類	免許教科	対象学科
数学コース	中学校教諭一種免許状	数学	機械工学科
	高等学校教諭一種免許状		機械システム工学科
工業コース	高等学校教諭一種免許状	工業	電気電子工学科
			建築学科

(情報コース " 情報 情報システム学科)

3. 教職課程の科目区分・必要単位数

教職課程科目は、【教員免許修得のための必修科目】【教育の基礎的理解に関する科目等】【教科及び教科の指導法に関する科目】に大別され、それぞれの必要単位数は、下記のとおりになります。

教職課程科目の科目区分と必要単位数			(数字は単位数)
コース	A 教員免許修得のための必修科目 (教育職員免許法施行規則第66条の6)	B 教育の基礎的理解に関する科目等	C 教科及び教科の指導法に関する科目
数学コース	10単位 【表1】	中学 30単位※ 【表2-1】	中学 36単位 【表2-2】
		高校 26単位 【表2-1】	高校 40単位 【表2-3】
工業コース		高校 26単位 【表3-1】	高校 40単位 【表3-2】

※「数学コース」履修者において、中学校教諭一種の免許状を修得しようとする者は、教職課程科目の履修の他に、社会福祉施設と盲・聾・養護学校で、計7日以上「介護等体験実習」を行う必要があります。「介護等体験実習」とは、障害者、高齢者に対する介護、介助、これらの人たちとの交流等の体験を指します。「介護等体験実習」の参加に際しては、実習費として1万円程度が必要になります。

また、「介護等体験実習」を終了した者は、施設長からの体験証明書を免許状の申請に添えて教育委員会に提出しなければなりません。

③ 専門科目と重なる
ただし数学は自由科目が多い
また、②③は5限にあることが多い

4. 「教育実習A」および「教育実習B」の履修前提条件と実習期間について

1. 履修前提条件について

4年次に実施される「教育実習A」、「教育実習B」を履修するには、条件が定められており、原則として、3年次までの「教職に関する科目」のうち下表に掲げる科目を全て修得しなければ、実習に行くことはできません。

(B)と(C)

「教育実習A」および「教育実習B」の履修に必要な科目一覧

学年	前 期	後 期
1 年	教職論 教育原理	教育社会学
2 年	教育心理学	教育方法論 教育課程論
3 年	教育実習指導(4年次と併せて1単位) 数学科教育法1(数学コース) 工業科教育法1(工業コース) 道德教育の理論と実践 (数学コースの中学校教諭免許状修得希望者)	教育相談の理論と方法 数学科教育法2(数学コース) 工業科教育法2(工業コース) 特別支援教育の理論と指導方法 総合的な学習の時間の指導法

※4年次には、「教育実習A」、「教育実習B」のほかにも、履修する必要がある科目がありますので、注意してください。

2. 実習期間について

免許状の種類により必要な教育実習期間が異なりますので、下記を参考にしてください。

- (1)高等学校一種免許状を修得しようとする者は、2週間の教育実習を必要とし「教育実習B」を履修しなければならない。
- (2)中学校一種免許状を修得しようとする者は、原則3週間の教育実習を必要とし「教育実習A」「教育実習B」の両科目を履修しなければならない。

実習は3W行ってあげば、卒業後他の教科の免許をとる場合もそのまま使える。

■ 全学科共通(数学・工業共通)

「数学」(中学校教諭・一種免許状、高等学校教諭・一種免許状)に関する教職課程科目

「工業」(高等学校教諭・一種免許状)に関する教職課程科目

教職課程 21生対象

【表1】 教員免許修得のための必修科目

科目(単位数)	対象学科	必要単位数	備考 ※注1
「法学A」(2単位) 「法学B」(2単位)	全学科	計4単位	「日本国憲法」に対応する科目
「健康科学演習A」(1単位) 「健康科学演習B」(1単位)		計2単位	「体育」に対応する科目
「英語スキル3」(1単位) 「英語スキル4」(1単位) 「実践英語1」(1単位) 「実践英語2」(1単位)		左記科目の中から計2単位	「外国語コミュニケーション」に対応する科目
「機械工学基礎C」(2単位)	機械工学科	計2単位	「情報機器の操作」に対応する科目
「プログラミング1」(2単位)	機械システム工学科		
「プログラミング1」(2単位)	電気電子工学科		
「建築CAD1」(2単位)	建築学科 (建築専攻) (インテリアデザイン専攻) (かおりデザイン専攻)		
「CAD演習2」(2単位)	建築学科 (土木・環境専攻)		

※注1 教育職員免許法第5条別表第1備考第4号(文部省令で定める修得すべき科目)および施行規則66条の6関係

■ 全学科共通(数学)

「数学」(中学校教諭・一種免許状、高等学校教諭・一種免許状)に関する教職課程科目

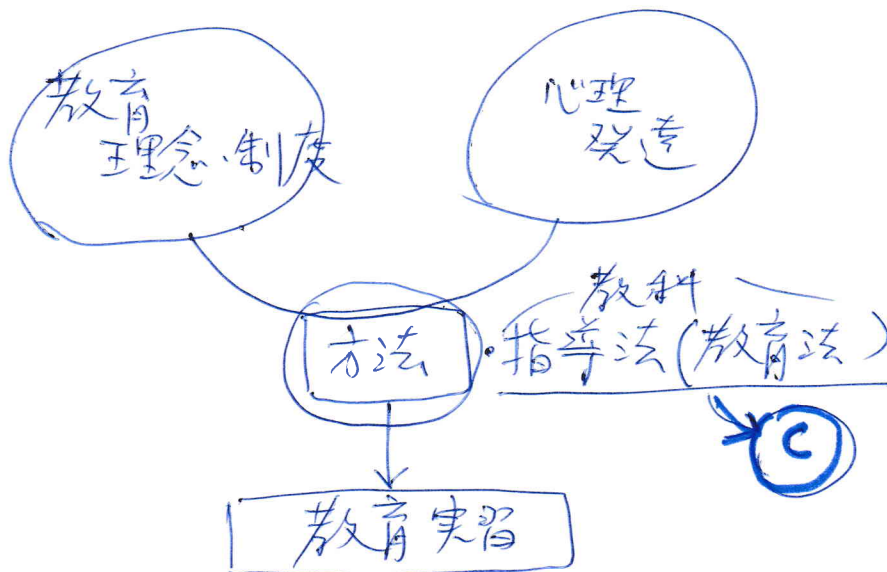
教職課程 21生対象

B

【表2-1】教育の基礎的理解に関する科目等

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考	
	必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次			
			1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期		
第三欄												
教職論	2		2									
教育原理 ★	2		2									
教育心理学 ★	2			2								
教育社会学 ★	2			2								
特別支援教育の理論と指導方法	2							2				
教育課程論	2					2						
第四欄												
道徳教育の理論と実践	2							2				中1種免許のみ必修
総合的な学習の時間の指導法	1								1			
特別活動の理論と方法	2										2	
教育方法論	2				2							
生徒・進路指導論	2									2		
教育相談の理論と方法	2								2			
第五欄												
教育実習指導	1							1		1		
教育実習A	2									2		中1種免許のみ必修
教育実習B	2									2		
教職実践演習(中等)	2										2	
合計												
中学校教免	30		4	2	2	4	3	5	7	4		
高校教免	26											

(注) 1. ★印の科目は人間科学科目群Bグループの卒業に必要な単位数に含むことができる。



■全学科共通(工業)

「工業」(高等学校教諭・一種免許状)に関する教職課程科目

教職課程 21生対象

B

【表3-1】教育の基礎的理解に関する科目等

{数学の高校と同じ}

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考		
			1年次		2年次		3年次		4年次				
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期			
第三欄	教職論	2		2									
	教育原理 ★	2		2									
	教育心理学 ★	2			2								
	教育社会学 ★	2			2								
	特別支援教育の理論と指導方法	2							2				
	教育課程論	2					2						
第四欄	総合的な学習の時間の指導法	1							1				
	特別活動の理論と方法	2									2		
	教育方法論	2				2							
	生徒・進路指導論	2								2			
	教育相談の理論と方法	2							2				
第五欄	教育実習指導	1						1		1			
	教育実習B	2								2			
	教職実践演習(中等)	2									2		
合計		26		4	2	2	4	1	5	5	4		

(注) 1. ★印の科目は人間科学科目群Bグループの卒業に必要な単位数に含むことができる。

数学 { 自由科目多い
5限多い
内容

■ 機械工学科

【数学】(中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状)に関する教職課程科目

教職課程 21生対象

【表2-2】教科及び教科の指導法に関する科目
7. 中学校教諭一種免許状

ここを見る! ※忘れ、おとさ → 何かとがっかっている場合
どちらを優先するか

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
			1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	
線形代数1	2		2								「免許法」で定められた最低修得単位数 28単位必修 各教科の指導法 代数学 必修科目を含む 合計8単位以上 修得すること。
線形代数2	2		2								
幾何学1	2					2					
解析学1	2		2	(2)							
解析学2	2		2	(2)							
解析学3	2			2	(2)						
応用解析1	2			2							
常微分方程式	2				2	(2)					
数理統計学1	2					2					
機械設計製図1	2			4							
数学科教育法1	2					2					
数学科教育法2	2						2				
数学科教育法3	2							2			
数学科教育法4	2								2		
線形代数3		2							2		
代数系入門		2								2	
幾何学2		2							2		
応用解析2	2				2						
応用解析3		2						2			
応用解析4		2							2		
数理統計学2		2						2			
機械設計製図2	2				4						
シミュレーション工学		2				2					
合計	32	14	4	4 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)	6	6	6	

相談

【表2-3】教科及び教科の指導法に関する科目
1. 高等学校教諭一種免許状

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
			1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	
線形代数1	2		2								「免許法」で定められた最低修得単位数 24単位必修 各教科の指導法 代数学 必修科目を含む 合計16単位以上 修得すること。
線形代数2	2		2								
幾何学1	2					2					
解析学1	2		2	(2)							
解析学2	2		2	(2)							
解析学3	2			2	(2)						
応用解析1	2			2							
常微分方程式	2				2	(2)					
数理統計学1	2					2					
機械設計製図1	2			4							
数学科教育法1	2					2					
数学科教育法2	2						2				
線形代数3 ★		2						2			
代数系入門 ★		2							2		
幾何学2		2						2			
応用解析2	2				2						
応用解析3		2						2			
応用解析4		2							2		
数理統計学2		2						2			
機械設計製図2	2				4						
シミュレーション工学		2				2					
合計	28	14	4	4 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)	6	4	4	

(注) 1. ★印の科目のうち1科目2単位以上を含むこと。

【表3-2】 教科及び教科の指導法に関する科目

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期		
工学概論	2							2				
工業力学	2			2								
加工学基礎	2			2								
機械力学基礎	2				2							
材料力学基礎	2				2							
機械材料学基礎	2				2							
熱力学基礎	2					2						
流体力学基礎	2					2						
要素・機構設計学	2					2						
機械力学		2				2						
材料力学		2				2						
材料強度設計学		2							2			
応用機械工学A		2						2				
応用機械工学B		2							2			
自動車工学		2								2		
熱エネルギー工学		2						2				
熱移動工学		2							2			
流体力学1		2						2				
計測工学		2				2						
電気工学		2							2			
航空宇宙工学		2								2		
機械材料学		2				2						
機能材料工学		2						2				
機械加工学		2			2							
変形加工学		2				2						
溶融加工学		2						2				
表面加工学		2							2			
環境工学		2								2		
基礎機械製図	2			4								
応用設計演習1		2						2				
応用設計演習2		2							2			
数値計算法1		2						2				
数値計算法2		2							2			
機械製作実習1	2			4								
機械製作実習2	2				4							
機械工学実験1	2							4				
機械工学実験2	2								4			
品質管理		2								2		
工業経営論		2								2		
科学技術史と技術者倫理		2									2	
職業指導1	2									2		
職業指導2	2										2	
工業科教育法1	2							2				
工業科教育法2	2								2			
合計	36	52	0	12	12	16	22	20	12	4		

左記の科目中から
必修科目を含む
合計32単位以上
修得すること。

C

以下略

教職課程

1. 教職課程について

卒業後、教育職員を志望するものは、「教育職員免許法」に定める教育職員免許状を取得する必要があります。そのためには、卒業に必要な所定の単位を修得するとともに、所要条件を満たし、かつ所定の単位修得し、申請することが必要になります。

2. 修得できる免許状について

教職課程を履修し、卒業と同時に申請し修得できる免許状は、下記のとおりです。

コース	免許状の種類	免許教科	対象学科
数学コース	中学校教諭一種免許状	数学	情報システム学科
	高等学校教諭一種免許状		
情報コース	高等学校教諭一種免許状	情報	情報システム学科

3. 教職課程の科目区分・必要単位数

教職課程科目は、【教員免許修得のための必修科目】【教育の基礎的理解に関する科目等】【教科及び教科の指導法に関する科目】に大別され、それぞれの必要単位数は、下記のとおりになります。

教職課程科目の科目区分と必要単位数 (数字は単位数)

コース	教員免許修得のための必修科目 (教育職員免許法施行規則第66条の6)	教育の基礎的理解 に関する科目等	教科及び教科の指 導法に関する科目
数学コース	10単位 【表1】	中学 30単位※ 【表2-1】	中学 36単位 【表2-2】
		高校 26単位 【表2-1】	高校 40単位 【表2-3】
情報コース		高校 26単位 【表3-1】	高校 40単位 【表3-2】

※「数学コース」履修者において、中学校教諭一種の免許状を修得しようとする者は、教職課程科目の履修の他に、社会福祉施設と盲・聾・養護学校で、計7日以上の「介護等体験実習」を行う必要があります。「介護等体験実習」とは、障害者、高齢者に対する介護、介助、これらの人たちとの交流等の体験を指します。「介護等体験実習」の参加に際しては、実習費として1万円が必要になります。

また、「介護等体験実習」を終了した者は、施設長からの体験証明書を免許状の申請に添えて教育委員会に提出しなければなりません。

4. 「教育実習A」および「教育実習B」の履修前提条件と実習期間について

1. 履修前提条件について

4年次に実施される「教育実習A」、「教育実習B」を履修するには、条件が定められており、原則として、3年次までの「教職に関する科目」のうち下表に掲げる科目を全て修得しなければ、実習に行くことはできません。

③と④

「教育実習A」および「教育実習B」の履修に必要な科目一覧

学年	前 期	後 期
1 年	教職論 教育原理	教育社会学
2 年	教育心理学	教育方法論 教育課程論
3 年	教育実習指導(4年次と併せて1単位) 数学科 <u>教育法1</u> (数学コース) 情報科 <u>教育法1</u> (情報コース) 道徳教育の理論と実践 (数学コースの中学校教諭免許状修得希望者)	教育相談の理論と方法 数学科 <u>教育法2</u> (数学コース) 情報科 <u>教育法2</u> (情報コース) 特別支援教育の理論と指導方法 総合的な学習の時間の指導法

※4年次には、「教育実習A」、「教育実習B」のほかにも、履修する必要がある科目がありますので、注意してください。

2. 実習期間について

免許状の種類により必要な教育実習期間が異なりますので、下記を参考にしてください。

(1)高等学校一種免許状を修得しようとする者は、2週間の教育実習を必要とし「教育実習B」を履修しなければならない。

(2)中学校一種免許状を修得しようとする者は、原則3週間の教育実習を必要とし「教育実習A」「教育実習B」の両科目を履修しなければならない。

■ 情報システム学科

「数学」(中学校教諭・一種免許状、高等学校教諭・一種免許状)に関する教職課程科目

教職課程 21生対象

【表1】 教員免許修得のための必修科目

科目(単位数)	必要単位数	備考 ※注1
「法学A」(2単位) 「法学B」(2単位)	計4単位	「日本国憲法」に対応する科目
「健康科学演習A」(1単位) 「健康科学演習B」(1単位)	計2単位	「体育」に対応する科目
「英語スキル3」(1単位) 「英語スキル4」(1単位) 「実践英語1」(1単位) 「実践英語2」(1単位)	左記科目の中から 計2単位	「外国語コミュニケーション」に 対応する科目
「プログラミング入門」(2単位)	計2単位	「情報機器の操作」に対応する科目

※注1 教育職員免許法第5条別表第1備考第4号(文部省令で定める修得すべき科目)および施行規則66条の6関係

【表2-1】 教育の基礎的理解に関する科目等

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考		
	必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次				
			1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期			
第三欄	2		2										
教職論	2		2										
教育原理 ★	2		2										
教育心理学 ★	2			2									
教育社会学 ★	2			2									
特別支援教育の理論と指導方法	2							2					
教育課程論	2				2								
第四欄	2						2						中1種免許のみ必修
道徳教育の理論と実践	2						2						
総合的な学習の時間の指導法	1							1				2	
特別活動の理論と方法	2					2							
教育方法論	2					2							
生徒・進路指導論	2									2			
教育相談の理論と方法	2									2			
第五欄	1							1			1		
教育実習指導	1							1			1		
教育実習A	2										2		
教育実習B	2										2		
教職実践演習(中等)	2											2	
合計	30												
中学校教免	30		4	2	2	4	3	5	7	4			
高校教免	26												

(注)1. ★印の科目は人間科学科目群Bグループの卒業に必要な単位数に含むことができる。

数学 (C)

「数学」(中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状)に関する教職課程科目

教職課程 21生対象

【表2-2】教科及び教科の指導法に関する科目
ア 中学校教諭一種免許状

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考			
			1年次		2年次		3年次		4年次					
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	免許法における科目区分			
線形代数1	2		2									代数学	「免許法」で定められた最低修得単位数 28単位必修	
線形代数2	2			2										
幾何学1	2						2					幾何学		
解析学1	2		2	(2)								解析学		
解析学2	2			2	(2)									
解析学3	2				2	(2)								
常微分方程式	2					2	(2)							
応用解析1	2				2									
確率・統計	2				2							「確率論、統計学」		
プログラミング1	2		2	(2)								コンピュータ		
数学科教育法1	2					2						各教科の指導法		
数学科教育法2	2						2							
数学科教育法3	2							2						
数学科教育法4	2								2					
線形代数3	2				2							代数学		必修1科目2単位を含む合計4科目8単位以上修得すること。
代数系入門	2											2		
幾何学2	2							2				幾何学		
応用解析2	2					2						解析学		
応用解析3	2								2					
応用解析4	2									2				
数理統計学2	2							2				「確率論、統計学」		
情報統計学	2					2						コンピュータ		
数値計算法	2							2						
情報理論	2					2								
オートマトン・言語理論	2					2								
合計	30	20	4	6 (2)	8 (4)	10 (2)	4 (2)	8	4	6				

【表2-3】教科及び教科の指導法に関する科目
イ 高等学校教諭一種免許状

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考			
			1年次		2年次		3年次		4年次					
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	免許法における科目区分			
線形代数1	2		2									代数学	「免許法」で定められた最低修得単位数 24単位必修	
線形代数2	2			2										
幾何学1	2						2					幾何学		
解析学1	2		2	(2)								解析学		
解析学2	2			2	(2)									
解析学3	2				2	(2)								
常微分方程式	2					2	(2)							
応用解析1	2				2									
確率・統計	2				2							「確率論、統計学」		
プログラミング1	2		2	(2)								コンピュータ		
数学科教育法1	2					2						各教科の指導法		
数学科教育法2	2						2							
線形代数3	2				2							代数学		必修1科目2単位を含む合計8科目16単位以上修得すること。
代数系入門	2									2				
幾何学2	2							2				幾何学		
応用解析2	2					2						解析学		
応用解析3	2								2					
応用解析4	2									2				
数理統計学2	2							2				「確率論、統計学」		
情報統計学	2					2						コンピュータ		
数値計算法	2							2						
情報理論	2					2								
オートマトン・言語理論	2					2								
合計	26	20	4	6 (2)	8 (4)	10 (2)	4 (2)	8	2	4				

【表1】 教員免許修得のための必修科目

科目(単位数)	必要単位数	備考 ※注1
「法学A」(2単位) 「法学B」(2単位)	計4単位	「日本国憲法」に対応する科目
「健康科学演習A」(1単位) 「健康科学演習B」(1単位)	計2単位	「体育」に対応する科目
「英語スキル3」(1単位) 「英語スキル4」(1単位) 「実践英語1」(1単位) 「実践英語2」(1単位)	左記科目の中から 計2単位	「外国語コミュニケーション」に 対応する科目
「プログラミング入門」(2単位)	計2単位	「情報機器の操作」に対応する科目

※注1教育職員免許法第5条別表第1備考第4号(文部省令で定める修得すべき科目)および施行規則66条の6関係

【表3-1】 教育の基礎的理解に関する科目等

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考		
			1年次		2年次		3年次		4年次				
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期			
第三欄	教職論	2		2									
	教育原理 ★	2		2									
	教育心理学 ★	2			2								
	教育社会学 ★	2			2								
	特別支援教育の理論と指導方法	2							2				
	教育課程論	2					2						
第四欄	総合的な学習の時間の指導法	1							1				
	特別活動の理論と方法	2									2		
	教育方法論	2					2						
	生徒・進路指導論	2								2			
	教育相談の理論と方法	2							2				
第五欄	教育実習指導	1						1			1		
	教育実習B	2									2		
	教職実践演習(中等)	2										2	
合計		26		4	2	2	4	1	5	5	4		

(注) 1. ★印の科目は人間科学科目群Bグループの卒業に必要な単位数に含むことができる。

C

15

【表3-2】 教科及び教科の指導法に関する科目



授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	免許法における科目区分	
知的財産権論	2									2	情報社会と情報倫理	左記の科目中から必修科目を含む合計36単位以上修得すること。
情報化社会と情報倫理	2								2	情報社会と情報倫理		
プログラミング2	2			2	(2)						コンピュータ及び情報処理	
コンピュータアーキテクチャ1	2			2							コンピュータ及び情報処理	
コンピュータアーキテクチャ2	2	2			2						コンピュータ及び情報処理	
アルゴリズムとデータ構造1	2				2						コンピュータ及び情報処理	
アルゴリズムとデータ構造2	2					2					コンピュータ及び情報処理	
情報演習D	4					4	(4)				コンピュータ及び情報処理	
コンパイラ構成法	2					2					コンピュータ及び情報処理	
デジタル回路	2					2					コンピュータ及び情報処理	
コンピュータセンシング	2					2					コンピュータ及び情報処理	
オブジェクト指向プログラミング	2							2			コンピュータ及び情報処理	
オペレーティングシステム	2			2							情報システム	
ソフトウェア工学	2	2				2					情報システム	
データベース	2						2		2		情報システム	
リアルタイムシステム	2								2		情報システム	
分散処理	2								2		情報システム	
情報ネットワーク概論	2			2							情報通信ネットワーク	
情報ネットワーク1	2			2							情報通信ネットワーク	
ネットワークプログラミング	2							2			情報通信ネットワーク	
通信工学	2								2		情報通信ネットワーク	
ネットワークシステム	2					2					情報通信ネットワーク	
音声画像処理	2						2				マルチメディア表現及び技術	
情報演習C	4					4	(4)				マルチメディア表現及び技術	
CAD	2							2			マルチメディア表現及び技術	
情報化社会と職業	2								2		情報と職業各教科の指導法	
情報科教育法1	2					2					情報と職業各教科の指導法	
情報科教育法2	2						2				情報と職業各教科の指導法	
合計	32	28		2	8	4 (2)	22	10 (8)	8	6		